



発行:八幡市教育委員会 令和2年(2020年)11月20日
URL <http://www.city.yawata.kyoto.jp/>

第75号

おもな記事

- ◆小学校5・6年生で外国語が教科化 1・2面
- ◆教育委員就任あいさつ 3面
- ◆教育長・委員の就退任、委員会の構成 3面
- ◆八幡市文化賞・スポーツ賞の表彰 3面
- ◆教育に関する相談及び不登校に係る支援 3面
- ◆各幼稚園(こども園)の取組 4面

どうして小学校3・4年生では外国語活動、 5・6年生では外国語科が導入されたのですか？

「グローバル化が急速に進展する中で、外国語によるコミュニケーション能力は、これまでのように一部の業種や職種だけでなく、生涯にわたる様々な場面で必要とされることが想定される。」ことや、「小学校では、平成23年度から高学年において外国語活動が導入されたものの、①音声中心で学んだことが、中学校の段階で音声から文字への学習に円滑に接続されていない、②日本語と英語の音声の違いや英語の発音と綴りの関係、文構造の学習において課題がある、③高学年は、児童の抽象的な思考力が高まる段階であり、より体系的な学習が求められることなどが課題として指摘されている。」ことなどを踏まえて導入されました。

本年度から小学校3・4年生では外国語(英語)活動、 5・6年生では外国語(英語)を「教科」として学習しています！

本年度から中学年(小学校3・4年生)では、文部科学省作成の外国語活動の教材「Let's Try!」を使って、「聞くこと」「話すこと」を中心に週1コマ(年間35単位時間)外国語活動の授業をしています。高学年(小学校5・6年生)では、「NEW HORIZON Elementary English Course(東京書籍)」の教科書と「Picture Dictionary(5・6年生で学習する662の単語や表現がイラスト付きで収録)」を使って、「聞くこと」「話すこと」に「読むこと」「書くこと」も加えて週2コマ(年間70単位時間)教科として外国語の授業をしています。

小学校中学年の外国語活動で、「聞くこと」「話すこと」を中心とした活動を通じて外国語に慣れ親しみ外国語学習への動機付けを高めた上で、高学年から発達の段階に応じて段階的に文字を「読むこと」「書くこと」を加えて総合的・系統的に扱う教科学習を行うとともに、中学校への接続を図ることを重視して行っています。

(次ページへ)

令和2年度より小学校5・6年生で外国語が教科化へ
八幡市での小学校における外国語教育の取組

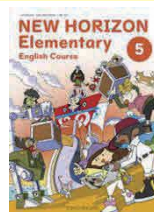
3年生時



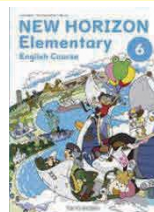
4年生時



5年生時



6年生時



Picture Dictionary



令和2年度より	
3年生	外国語活動
4年生	外国語活動
5年生	外国語
6年生	外国語

【中学年のねらい】
コミュニケーション能力の素地を養う
 「聞く」「話す」を中心に英語に慣れ親しむ

【高学年のねらい】
コミュニケーション能力の基礎を養う
 「聞く」「話す」に加えて「読む」「書く」にも慣れ親しむ

3学年
4学年
活動型
 年間
 35単位時間

5学年
6学年
教科型
 年間
 70単位時間



八幡市では、ネイティブスピーカー（外国人講師）を8小学校に派遣しています。8小学校を2ブロックに分け、各ブロックに1名ずつ計2名配置し、生きた英語に触れさせ、コミュニケーションの楽しさを感じさせるようにしています。

小学校3・4年生の外国語活動では、どのように授業を進めていますか。

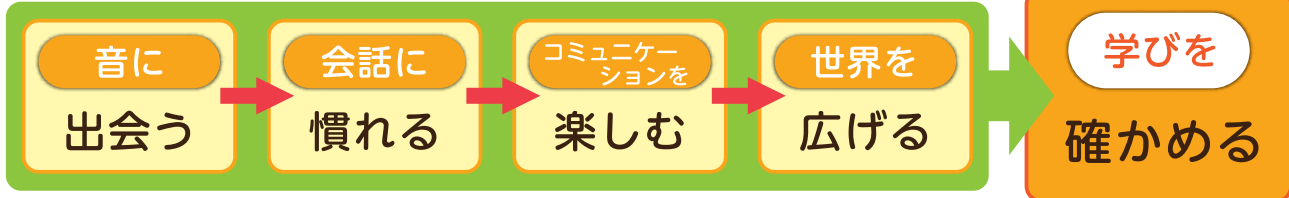
各ユニットでの学習は、まず映像や音を「聞く」ことからスタートします。そして、ゲームやチャンツ（リズムに合わせて言う）、英語の歌を通して「話す」アクティビティ（間違いを恐れず、友達と自分の思いや考えを伝え合ってコミュニケーションをとる）に取り組んでいます。

「外国語活動」は、**英語を楽しむことを大切にしています！**



小学校5・6年生の外国語科では、どのように授業を進めていますか。

各ユニットでの学習は、**音に出会う**（音声や映像で英語を通していろんなことを知る。）⇒**会話に慣れる**（教科書の対話の音声モデルに先生や友達と英語でやり取りをする。）⇒**コミュニケーションを楽しむ**（英語を使う本物の場面やことばの働きに注意しながら、会話を楽しむ。）⇒**世界を広げる**（コミュニケーション活動と同じテーマを、身近なことや他教科につなげて、学びをより豊かにする。）ことを行い、そして、**学びを確かめる**（学んだ英語を使ってみる。また、できるようになったことを振り返る。）ことも行っています。



授業の主役はあくまで児童であり、児童が英語を話したくなる空気づくりを大切にしています。また、自分から発話することができない児童には、教員が寄り添って、その児童が発話できそうな題材を与えるほか、ペアやグループで助け合い、自分たちで考えて話すことができるようにしています。

(学校教育課)

教育委員就任の いあいさつ

この度、八幡市の教育委員に任命をいただき、また、八頭司めぐみでございます。

私は八幡市の小学校に18年間保護者としてお世話になりました。沢山の方に助けて頂きながら、子育てができた事に、とても感謝しております。この感謝の気持ちを忘れずに、保護者としての目線に立ち、八幡市の教育に貢献できればと思っています。

微力ではありますが、精一杯頑張つて参る所存でございますので、至らない点につきましては、ご指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願い致します。



教育委員
八頭司めぐみ氏

教育長・委員の 就退任

平成25年4月2日から7年間、教育長として就任していただきました谷口正弘氏が4月1日付で退任されました。

なお、4月2日から新教育長として小橋秀生氏が就任されました。

また、平成30年4月1日から委員として就任していただきました人見妃都美氏が令和2年2月29日付で辞任されました。

現在の 教育委員会の構成

(令和2年11月1日現在)

教育長 小橋 秀生

委員(教育長職務代理者)

委員 松下 順英
委員 橋本 陽生
委員 佐野 恵理子
委員 八頭司 めぐみ

(教育総務課)

八幡市文化賞・スポーツ賞の表彰

令和2年11月3日(火・祝)八幡市文化センターにおいて、八幡市文化賞・スポーツ賞の表彰式が行われ、小学生・中学生が対象となるジュニア賞では10人の児童・生徒と、4団体が受賞されました。

受賞者は次のとおりです。(敬称略・順不同)

【文化賞・個人】

▽清水菜摘(男山東中・作文)

【文化賞・団体】

▽男山東中学校(小論文)

【スポーツ賞・個人】

▽谷柚嬉(美濃山小・空手)▽谷勇駕(男山東中・空手)▽瀧野未来(男山東中・陸上)

▽松岡空良(男山三中・陸上)▽藤原和真(男山三中・陸上)▽松井麟太郎(男山三中・トリアスロン)▽由井廉太郎(男山三中・レスリング)▽清原将(橋本小・剣道)▽中本莉空(美濃山小・テニス)

【スポーツ賞・団体】

▽男山第三中学校(板倉、成田、北村、藤原・男子共通4×100mリレー)
▽男山東中学校(北山、山崎、有川、瀧野・女子共通4×100mリレー)
▽京田辺リトルワイルドローバー(美濃山小学校チーム若松、喜多、羽木、多田、大野、笠原、フラッグフットボール)

(社会教育課)

教育に関する相談及び 不登校に係る支援

教育に関する相談

市内在住の幼・小・中学生とその保護者の相談に、専門の相談員及びカウンセラーが応じます。

不登校支援

教育支援教室「せつき」

個別・小集団での活動や学習を通して、社会性を培うとともに、自立を促し、学校生活への適応や社会的自立を図ります。市内の小・中学校に在籍する児童・生徒が対象です。

【問い合わせ】教育支援センター

所在地：八幡市男山笹谷2

電話：075・982・3001
時間：平日 午前9時～午後5時

寄贈

○上原嘉昭様(美濃山在住)から有都小学校・美濃山小学校・男山東中学校に非接触型体温計(58台)

○株式会社Living Color様から市内全小学校に入学した新一年生児童へ防犯ブザー(600個)

○京都八幡ロータリークラブ様から市内各学校現場へフェイスシールド(1000枚)と消毒用アルコール液(20ℓ入り41箱)を寄付していただきました。

ありがとうございました。

令和2年度 幼稚園・こども園の取組

太鼓祭り 【八幡幼稚園】

7月16日、コロナ禍で恒例の行事が次々と中止となる中、『太鼓祭り in 八幡幼稚園』として規模を縮小しながらも実現できたことが、子どもたちの何よりも貴重な体験となりました。今年の神輿のテーマは春夏秋冬。季節を意識した飾り作りを楽しみ、社の上には鳳凰！一人一人を真似た人形にはそれぞれが調合した色水が色とりどりに輝き、まるで踊っているかのように躍動していました。道行く人が足を止め、微笑ましく見守ってくださる姿も心強く、コロナ禍をひと時忘れ、楽しむことができた一日となりました。これからも状況を見極めながら、楽しい体験の積み重ねができるよう、子どもたちの豊かな育ちをめざして園生活を進めていきたいと思ひます。



迷路をつくろう! 【八幡第三幼稚園】



6月から園が再開しようやく友達や先生に会い、一緒に遊べる喜びを味わっている中、5歳児から「迷路をつくりたい」という声が上がりました。友達と意見を出し合い、どのようにつくっていくかを話し合いながら遊びを進めていました。友達と考え気付いたことを伝え合ったり試行錯誤したり、意欲をもち協同して取り組み自分たちで工夫して場をつくりながら、実現させることができました。迷路が出来上がると5歳児はそれぞれの役割を決め、3・4歳児を招待したくさんの笑顔が見られました。園生活の中で、子どもたちの遊びや体験を大切にしながら、これからも「楽しい、面白い、やってみたい!」という気持ちを大切に過ごしていきたいと思ひます。

迷路づくり 【八幡第四幼稚園】

5歳児がキャンプファイヤーで体験したお化け屋敷がきっかけとなり、クラスで迷路づくりに取り組みました。グループでどんな迷路にしたいか話し合った後に発表し合い、構成を決めました。入り口や出口はどうするか、また楽しい部分の中に、お化け屋敷のような怖い部分もつくろうなど、みんなでイメージを共有しながら制作を進めていきました。その過程で友達と一緒に作り上げる充実感と同時に、異なる意見をもつ友達と折り合いをつけながら活動を進めていく難しさにも気付きました。完成した迷路は3・4歳児にも楽しんでもらいました。これからも一人一人が自分のよさを発揮しながら、友達と一緒に様々な活動を進めていけるようにしたいと思ひます。



シャボン玉遊び 【橋本幼稚園】



第1学期に健康診断を実施することができず、水遊びやプール遊びが中止になりました。そこで、夏の遊びを工夫しようとシャボン玉遊びをしました。コロナウイルス感染症について考えるとストローで吹くことはできませんが、うちわを骨組みだけにして仰ぐことで簡単にシャボン玉を作れました。また、「大きなシャボン玉を作りたい」という幼児の思いに寄り添い、針金ハンガーやフープで試しました。先生からのヒントを基に、液の配合も幼児たちで考えるなどして、人が入れるくらい大きなシャボン玉を作ることができました。友達や5歳児の様子を見ることで関心が高まり、継続的に遊びを進めることができ、満足感が得られる活動になりました。

田植え 【有都こども園】

保護者の方から田んぼをお借りし、田植え・稲刈りをしています。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保護者の参加は見合わせ5歳児と職員で行いました。前日にまっすぐに植えられるようにと園庭で田植えの練習もしました。当日はヌルヌルの田んぼの中に入り、「虫がいる!」「ズボッと入った!」と興奮しながら泥の感触を味わい、元気に育つようにと願いを込めて植えました。

後日、手作りのかかしを立て、稲刈りまで生長を楽しみにしていました。

収穫したお米はクッキング活動でおにぎりにし、別の畑で採れたダイコンなどを用いて豚汁作りを3・4・5歳児が行うなど、収穫の感動と食べ物大切さ、みんなで食べるおいしさを改めて実感する取組となりました。

